



# 留学だより NO.6



こんにちは。AFS66期生でポルトガルに留学中の大倉です。

最近は寒くなってきて暖炉が大活躍です。

また、毎日のように雨が降っています。学校は雨漏りが大変そうです。

今回の留学だよりでは、ストライキとクリスマスツリー、そしてテストについて書きます。

## <ストライキ>

日本ではあまり行われていないですが、ポルトガルではたまにストライキがあります。学校でもたまにあります。

教師のストライキの時はいくつかの授業が無くなりました。なくなった授業の時間は図書室で勉強をしたり、学校のバーでくつろいだり、学校の外へ出かけて行ったりとみんな自由に過ごしていました。

学校の職員さんのストライキの時は学校の職員さんが誰も来ませんでした。この日は、朝学校に行って教室の前で先生を待っていても先生が来ないし、周りを見ても授業が始まる気配がなく、どうしたのだろうかとクラスの人と周りを見渡していたら、“今日は授業が無くなったよ”といわれ、強制下校でした。日本では経験できないことなので何だか楽しかったのですが、登下校のバスは1時間半に1本しかなかったり、親に車で送り迎えをしてもらったりしているので、みんな帰るのも大変そうでした。前日に伝えてくれていれば学校へ行かなくてもよかったのと思いました。私は学校の近くの図書館で1日のんびり過ごせてよかったです。ただ、皆が払ったランチ代はどこへいったのかは不思議です。

ストライキとは関係がないですが、授業が無くなるのがしばしばあります。授業時間になっても先生が来なかったり、事前に休むことを言われていたりといった感じです。

## <クリスマスツリー>

先日、ホストファミリーとクリスマスツリーの飾りつけをしました。てっぺんの星は毎年誰かが手作りしているそうで、今年は私が作ることになりました。何か日本らしいものを作るように言われたので、折り紙で星を作りました。私は、クリスマスは美味しいご飯とお菓子があれば満足なので今までクリスマスツリーの飾りつけたことが無かったのですが、やってみたらとても楽しかったです。

## <テスト>

テストは日本の定期考査とは違い、それぞれの科目ごとの先生が決めた日程で行われます。学期に1回の科目もあれば2回の科目もあります。

数学、英語の文法、化学は何となくできてはいます。しかし、生物はポルトガル語があまり理解できなかったり、電子辞書を使っても時間が間に合わなかったりして厳しいです。また、英語のリーディング、ライティングはちょっと難しいです。



クリスマスツリー



暖炉

11期生 大倉  
01.Dez.2019